



発行所 磐城日日新聞社 福島県小名浜町港廻51 電話代表387番 編集長 長瀬壽一 発行人 長瀬壽一

紙面を広く讀者の論議に開放し、社会の意志を擁護する。一旦掲載した問題に關しては如何なる反論をも拒まず、これを尊重する。 磐城日日新聞社

磐城、常磐二市生る

縣議會 結局に正式議決す

【福島にて長瀬通信員電話】磐城市など四町村合併議案は十七日二十八年度追加更正予算など四十二件と共に縣議會に一括上提され、午後五時半議決され、即刻關係書類は内閣に送附された。

縣總務委員會は午前十時から委員會を開き小名浜町が委員會の主張を呑んだため、磐城市の誕生には意義なく承認したが磐城市内の合併反對の如何に扱ふかに議論が沸騰し再三に亘る休議を行つたが結局は出ず、午後二時半本會議を開き、合併四議案は總務委員會附託となり、更に委員會を開き、自由黨は秘密會を開いて意見をまとめようとするなど紛糾を續けたが、「磐城市内の反對運動は村議會が責任をもつて回避する」と云う磐城市議會の申入れによつて湯本、磐城合併議案を了承、午後五時半本會議を再開して天野委員長から委員會審議経過が報告され、磐城、常磐二市、國見、大庭二村の新誕生が満場一致議決された。

斬り捨て御免

鹿島三部落政争の考察

醉狂童子

鹿島三部落問題も各新聞の傳える處によると湯本の編入に決定した様である。吾輩は別に此の問題を更に掘り出さうとするものではないが、先ず何故に湯本町と小名浜町が斯く迄も對立抗争をせねばならなかつたかと云う点であるが、これは

あの鹿島三部落にそれだけ価値があるからである。と云つてもあんなに切ないならやつたらいいじゃないかと簡単に考える向きも小名浜には大部ある。村壽太郎がボイツマス條約に於て湯本を半分譲つて北は不要であるとする。實際はさせられたのだ。今日に至りホソを嚙んだ。何を残らぬと明々白々である。思いを此處に致せば答は

尤も今日は元の黙阿彌になつて終つたが、この三部落を考へるときに常磐炭礦の存在を無視することは不可能である。同炭礦の生命線である。島嶼の切羽は松久須根の地下に來ているのである。常に前進する切羽の進行は飯田、金成、の方向を指している。常磐炭礦を除いて湯本町に何が残されるか。何も残らぬと明々白々である。思いを此處に致せば答は

鈴木君に町長賞

小名二青の總會

小名浜町第二青年會の定期總會は二十一日午前十時から第三小學校講堂で行われる。なお同大會に於て次の會員が表彰される。 町長賞—組織部長鈴木陽一 教育賞—文化部長、

遠藤氏が立候補

豊岡町長選十七日に告示

石城郡豊岡町の町長は三月で任期満了となり町長改選は二十八日行われるが十七日選挙告示と同時に現町長遠藤専氏(六二)が立候補を届出した。なお前町長四家健雄氏(五六)の出馬も予想され、兩氏一騎打ちの交算が大である。しかし豊岡町は江名町が磐城市に合併を決定した。至極簡単に出来る筈である。常磐炭礦は既に松久須根の地内に風坑を設け、更に縦坑開サツを企圖している。縦坑が出来れば現在のまなれば約二千万円の礦産税、固定資産税その他



遠藤専氏

三月定例会 小名浜社会人クラブの三月例会は十九日午後六時半から新上旅館裏の不二振興Kで開かれる。議題は「合併問題と市制五ヶ年計画について」となつており、小名浜町内の有識者によつて組織されている同クラブが全町環境の的となつて行われている市制施行問題を取りあげた事は当然ながら五ヶ年計画には相当に鋭い批判なども加えられるものと見られてゐる。

うまい醤油 うまい味噌 星友太郎 社長 株式会社 友友醤油

外科 松田病院 小名浜町駅前大通り 電話四三三番

工員募集 植字工、印刷工(経験者) 小名浜町 長瀬印刷KK

飯塚シン商会 営業所 植田町本町電話七〇二 工場 植田町北台電話二六八

入學進級卒業用品 ランドセル皮製品550円 学帽120円以上600円 学生服セラー服各種入荷

月拂で即時家が建ちます 一年満期は半金拂込で即時着工 後の半金は月拂い...

開場三周年記念 平けいりん 3月 13日 14日 15日 20日 21日 22日

17日 19日 同時上映 眞田十勇士大會 流賊黒馬隊

